

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式									
EU41D303		特別支援学校実践実地研究 (Field Study in Special Support School Practice)					実習科目											
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修		5	2	教育学研究科	通年		氏名 佐藤晋治, 高橋徹弥, 友成洋											
							E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 佐藤: 7531											
授業概要		特別支援学校における教育体験を通して、自らの研究テーマとする教育課題に対する解決策や改善策を具体的に構想し、実践の成果を的確に評価する力を養う。計25日間(前期10日間、後期15日間)にわたって実習校(現職教員は現任校、ストレートマスターは附属特別支援学校または連携協力校)における実習担当教員の指導の下に、特別支援学校実践実地研究 で構想した課題解決策を提案し、実践する。教育実践研究 での省察を通して研究課題について探究し、その成果を教育実践研究報告書にまとめる。																
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 特別支援学校実践実地研究 で構想した課題解決策を提案し、実践することができる									○	○		○						
目標2 教育実践課題研究 での省察を通して研究課題について探究し、その成果を教育実践研究報告書にまとめることができる									○	○		○						
目標3																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 【事前指導】																		
2 ・特別支援学校実践実地研究 の成果を踏まえて、院生と大学院の指導教員とが協同して「研究計画書」を作成する。																		
3 ・研究計画書に基づきながら特別支援学校実践実地研究 における課題意識の明確化を図る。																		
4 【前期(10日間)】																		
5 ・実習担当教員の指導の下に、院生の教育実践研究の課題(テーマ)に即した場面での参与観察を行う。																		
6 ・実習担当教員と大学院の教員を交え、10日間の実地研究の状況を確認し、院生が行う実践の指導計画の内容を検討する。																		
7 ・省察科目「教育実践課題研究 」において10日間の実地研究の成果及び課題点を明確化し、後期の研究計画を確認する。																		
8 【後期(15日間)】																		
9 ・明確化した前期の成果及び課題点を踏まえ、実習担当教員の指導の下に、院生の教育実践研究の課題(テーマ)に即した場面での参与観察を行う。																		
10 ・実習担当教員の指導の下に、作成した指導計画に基づいた指導や支援等を実際に行う。																		
11 ・実習担当教員と大学院の巡回教員を交え、院生の指導(授業や生徒指導等)の事後研等を通して、院生が実施した指導の教育的実効性を検証する。																		
12 ・省察科目「教育実践課題研究 」において実際に行った指導内容の成果及び課題点を明確化し、教育実践研究報告書の内容を検討する。																		
13 【事後指導】																		
14 ・実地研究 の振り返りならびに観察及び指導や支援等の実践の省察を行う。																		
15 ・実地研究 の成果報告を行う。																		
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ		A:知識の定着・確認				実習		工 夫 そ の 他 の										
		B:意見の表現・交換		○														
		C:応用志向		○														
		D:知識の活用・創造		○														
時間外学修の内容と時間の目安		準備学修	実習準備(10h)															
		事後学修	実習日誌・観察記録等のまとめ(20h)															
教科書		必要な資料等は大学より配付する。																
参考書		必要な資料等は大学より配付する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法					割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
	実習校における教育実践への積極的参加度					70%	○	○										
	教育実践研究報告書の作成					30%	○	○										
注意事項																		
備考																		
リンク																		
		URL																

担当教員の 実務経験の有無	○
教員の 実務経験	佐藤晋治(臨床心理士，学校心理士)/高橋徹弥(特別支援学校，教育委員会事務局)/友成 洋(特別支援学校，教育委員会事務局)
実務経験を いかした教 育内容	学校現場や教育行政現場，心理臨床の現場での実務経験をもとに，特別支援学校における障害のある人々への指導、支援全般に係る指導を行う